



平成 18 年 10 月 16 日

各 位

株式会社ファルコバイオシステムズ
京都市中京区河原町通二条上る清水町 346 番地
代表取締役会長兼社長 赤澤 寛治
(コード番号：4671 東証・大証各第一部)
問い合わせ先：
常務取締役経営企画本部長 安田 忠史
電話(075)257-8556

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 8 日の中間決算発表時に公表した平成 18 年 9 月期(平成 17 年 9 月 21 日～平成 18 年 9 月 20 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 9 月期業績予想数値の修正(平成 17 年 9 月 21 日～平成 18 年 9 月 20 日)

(1) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	32,500	1,800	970
今回修正予想(B)	32,800	1,270	2,400
増減額(B-A)	300	530	3,370
増減率(%)	0.9	29.4	-
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 9 月期)	29,535	1,772	969

(2) 個別業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	20,000	1,450	850
今回修正予想(B)	20,300	940	3,900
増減額(B-A)	300	510	4,750
増減率(%)	1.5	35.2	-
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 9 月期)	19,453	1,423	801

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想修正の理由

売上高につきましては、中間決算発表時に公表いたしました予想数値に対し、ほぼ計画どおりに推移いたしました。

経常利益につきましては、遺伝子検査等の新規事業の立ち上げ費用の増加、国立病院等の院内検査室運営の収益改善の遅れ、新規連結子会社の受入時における費用の増加並びに花粉アレルギー検査の減少などにより、当初予想に比べ5億30百万円減少の12億70百万円となる見込みです。

当期純利益につきましては、本日別途発表しております連結調整勘定の一括償却を特別損失に計上することなどにより、33億70百万円減少し、24億円の当期純損失となる見込みです。

(2) 個別業績予想修正の理由

売上高につきましては、中間決算発表時に公表いたしました予想数値に対し、ほぼ計画どおりに推移いたしました。

経常利益につきましては、遺伝子検査等の新規事業の立ち上げ費用の増加、国立病院等の院内検査室運営の収益改善の遅れ並びに花粉アレルギー検査の減少などにより、当初予想に比べ5億10百万円減少の9億40百万円となる見込みです。

当期純利益につきましては、本日別途発表しております子会社株式評価損を特別損失に計上することなどにより、47億50百万円減少し、39億円の当期純損失となる見込みです。なお、子会社株式評価損が連結業績に与える影響はありません。

なお、本資料に記載されている予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上